

宝島



みんな輝く文化祭

十一月六日(日)に、「宝の夢」文化祭が行われました。開始前から会場の体育館は、展示作品を鑑賞される人などでぎわっていました。

舞台発表は、音楽で小学生が「パフ」と「アフリカン・シンフォニー」の合奏を、中学生は「翼をください」の合唱を披露しました。

いまさら園は、それぞれ好きな楽器で、「カエルの歌」と「メリーさんの羊」を演奏しました。また、いまさら園児は音楽に合わせながら、カラオケガードを使い、一生懸命に演じました。小さな体で大きなカラオケガードを操る姿は、とてもかっこよかったです。

小学生は、一・二年生が「北風と太陽と旅人」という劇と、「地球のシンフォニー」という曲を歌いました。

三・四年生は、「みんなでのりこえる！」という学級目標をもとに、劇や合唱、ダンスを発表しました。

五・六年生は、「THE HISTORY」という題で、劇を発表しました。歴史で学んだことをもとに自分たちでストーリーを考え、わかりやすく発表しました。小学生は、それぞれ緊張しながらも、しっかりと発表していました。

中学生は、「私たちの六泊七日」という題で、修学旅行の活動報告をしました。また、「平和へのメッセージ from 宝島」では、平和学



習で調べたことを発表しました。戦争がどのようなものだったのかを伝えることができました。涙を流しながら、発表を聞かれています。マリンキッズタカラは、「ミッキーマウスマーチ」と「ルージュの伝言」、「オブラデイオブラダ」を演奏しました。みんなで息を合わせたすばらしい音色が、体育館中に広がりました。

宝島ステイールパンオーケストラは、「新宝島」と「風になりたい」を演奏しました。明るく楽しげな演奏で、文化祭がより盛り上がりました。

トカラ観音三線会は、「島人の宝」と「トカラ観音主」を三線で演奏しました。三線の音と宝島の昔の映像も流れました。

今年の文化祭も、一人一人がきらりと輝いたすてき文化祭になりました！

実りの秋「収穫祭」

十一月十六日(水)の二・三時間目に収穫祭が行われました。

今年も、コロナ対策のため会食は出来ませんでした。ですが、四月から楽しみにしていた収穫祭という事で、この日まで小・中学生や先生方全員で張り切っていました。

最初に、落花生の種まきから袋詰めまでの工程について、小学一年生から小学三年生が学級ごとに発表しました。

写真を見ていただきながらの説明で、緊張しながらもそれぞれがわかりやすくしっかりと発表することが出来ました。

発表が終わると、ふれあいタイムが行われました。ふれあいタイムでは、ポッチャ、グラウンドゴルフ、昔遊びの三つのレクリエーションを行いました。三つの委員会に分かれ、来場者と一緒に、時間を区切りながら、全てのレクリエーションをしました。

ポッチャは、初めての方もいらつしやったので、ルール説明をしてから始めました。誰でも気がねなくできるスポーツなので、皆さん楽しんでプレイしていました。グラウンドゴルフでは、それぞれ距離の違うコースが用意され、好きなコースを選んで挑戦しました。

帰るときに、来場された皆さんへ調理した黒糖ピーナッツを一つ一つお渡ししました。皆さんが笑顔で受け取ってくださる姿を見てとてもうれしくなりました。今年の黒糖ピーナッツはいかがだったでしょうか？ぜひ、感想を教えてください。

十一月八日(火)、小学五・六年生と中学生で、落花生の調理を行いました。どのように調理をしたらおいしく黒糖ピーナッツができるかを考えて、少し水を加えたり、砂糖を入れる順番を変えたりするなど、工夫をたして調理しました。

また、十一月十二日(土)に、袋詰めをしました。小学一年生から四年生と中学生で行いました。計量袋詰め、袋閉じの班に分かれて行ったため、スムーズに進めることができました。

計量班は、百グラムずつ黒糖ピーナッツを量っていきましました。袋詰めの際と連携してスムーズに行うことができました。袋詰めや袋閉じの班では、ペアになって息を合わせ、丁寧に作業しました。

小・中学生全員で育ててきた落花生。みんなで協力して調理、袋詰めまでしてきました。心を込めて作った黒糖ピーナッツは今年も美味しく仕上がりました。

これから先も、宝島小・中学校の伝統として、美味しい黒糖ピーナッツを作り続けていきたいです。

完成！黒糖ピーナッツ

十一月十日(木)の五・六時間目に「いのちふれあい体験教室」がありました。

今年はお産師の〇〇〇〇さんと保健師の〇〇〇〇さんが講師をしてくださいました。

最初に男子、女子の体の変化や性行為について話してください、その後妊娠体験をしました。寝ている姿勢から起き上がったとき、下をぬいだり、はいたり、階段を上ったり、下りたりしました。他にも赤ちゃんの人形をだっこしたり服の着せ替えをしたりしました。

「靴下がはきづらかった」や「服を着せるとき人形だから楽だけど、動いていたら大変なのかなと思う」などの感想がでてきました。

私はこの体験をとおして、妊婦さんの大変さを知りました。見かけたときなどに優しく接していきたいです。

お母さんたちが頑張ったから産まれてくれたのでこの命を大切にしたいです。

命の大切さ

お母さんたちが頑張ったから産まれてくれたのでこの命を大切にしたいです。



成長したトカラっ子たち

待ちに待った修学旅行が、小学五・六年生は十一月九日（水）から十二日（土）に、中学生は十月十六日（日）から二十二日（土）にありました。十島村連合修学旅行ということで、普段はTV会議でしか会えない人たちと直接会って、一緒に活動することができました。

小、中学生ともにとても充実した修学旅行の様子をそれぞれ紹介します。中学生は、二日目に知覧特攻平和会館に行きました。そこで、特攻が行われた経緯や特攻隊の人たちが、どのような思いで特攻に臨んだかを知り、平和について考えました。

四日目は自主研修があり、中学生七人で協力し鹿児島中央駅から科学館に行きました。道が分からなくなることもありましたが、地図を見たり、人に聞いたりして科学館に行くことができました。

そして今回、フェリーの関係で延泊となったおかげで、六日目に平川動物公園に行くことができました。有名なコアラ以外にも、トカラウマやホワイトタイガーなどたくさん動物を見ることができました。

今回の修学旅行では、時間やお金の使い方、礼儀やマナーなど、いろいろな事を学ぶことができました。また、友達もたくさんでき、とても思い出に残る修学旅行になりました。

小学生は、二日目に黎明館で約一時間見学し、その後、皆が楽しみにしていた自主研修を行いました。宝島は恵石島と一緒に中央駅や照国神社などに行きました。中央駅で迷子になったり、むじやきの白熊がベビーなのに量が多かったりなど大変だったけど楽しい自主研修でした。自主研修が終わると、バスで空港に向かい空港見学をしました。空港では税関で麻薬の入ったバックをあてるところを見たり、ヘリコプターや飛行機の操縦席に座ったり、普段はパスポートの必要な場所にも入れたりすることが出来ました。

三日目は、バスで霧島神宮へ行き、お参りやおみくじをしました。その後は、上野原縄文の森で勾玉作りをしました。お昼は楠志田で黒酢を使った料理を食べた後、黒酢について説明してもらいました。楠志田を出発後、水族館に行き、イルカショーを見てから自由行動です。魚を見たり、お土産を買ったりして楽しみました。その後はホテル福丸でお風呂に入り、コンビニで朝ご飯を買い船に乗りました。小、中学生ともに笑顔あふれる修学旅行となりました。



【上3枚は中学生修学旅行の様子】
【下3枚は小学生修学旅行の様子】

宝の神様

十一月十五日（水）に芸術鑑賞会が行われました。現在、壁画を描いてくださっている〇〇・〇〇〇さんが講師をしてくださいました。

今回は、児童生徒が考えた宝島の守り神を壁画に描くために、下書きをしました。

最初に全員の画用紙の裏面を使い、皆で線をつなぎ合わせていきました。ロコさんは、「この線は、みんなの絵がながっていることを表しているんだよ。」と話してくださいました。

守り神は、ハイビスカスやハブなど宝島に関係のあるものなどをモチーフに考えました。

それぞれ個性のある素敵な守り神が完成しました。壁画に描くのがとても楽しみです。



日々の成長 日記の紹介

「宝島オリピック」 小学五年 〇〇〇〇
今日の二・三時間目に走り高とびの宝島オリピックがあった。いままで練習してきたことをいかしてがんばりたいが、あまりにもひさしぶりなのでかんかくを少しわすれてしまった。だからがんばって思いだして、最初の練習時間でがんばった。85cmから95cmをがんばってとんだ。とても心配だが勇気をふりしぼってなんとかとべた。100cmはまだむりだったが目標をたっせいできてよかった。親にも見てもらえたのでうれしかった。次の体育もがんばっていききたい。

クイズコーナー

文化祭の音楽で中学生は、何を発表したでしょうか。

- ① 「パフ」
- ② 「アフリカン・シンフォニー」
- ③ 「翼をください」

先月の答え
「③ 先生チーム」

12月の行事予定

- 6日（火） SC来校
- 9日（金） 授業参観・PTA
心の教育の日
- 10日（土） トカラ集会
避難訓練（火災）
- 16日（金） 小学校入学説明会
- 23日（金） 終業式・大掃除

